



# さわやか練馬

●発行責任者・小林 三雄 ●編集責任者・樋田 信子

## チャリティフォーラム練馬

★時：四月五日(土)十四時～十六時

★所：練馬文化センター小ホール

第一部 和太鼓演奏

(石神井太鼓保存会せんば太鼓)

第二部 子ども短歌コンクール入賞者発表

第三部 練馬区社会福祉協議会へ募金贈呈

第四部 「講演」徳江秀雄統括主席

メインテーマ「家庭をよくする」

日サブ「和やかな家庭づくりが日本をよみがえらせる」

★チャリティフォーラムまで、あと三十五日。

★大勢様のご来場をお待ち申し上げます。

図書「ボランティア」 諏訪本雄次

平成20年2月29日  
中村西小学校より図書ボランティアの要請があり、千葉さんご夫妻と共に参加して丸一年(毎週一回)が経過しました。

去る三月三十一日(木)には、六年生の児童を対象に「図書ボランティアとしての意義や動機などの体験話」をお願いします、と同校から要請を受けて参加した。最初にボランティアとはと題して定義を述べ、次に自分自身の参加するようになった動機について話した。最後に良い書物との出会い(読書)がとても重要だと述べて締めくくった。

ボランティア授業に参加 千葉協治

二月二日(金)中村西小学校六年生、家庭科の授業にてボランティアの話をして頂きたいとの要請があり参加した。約十分の持ち時間で、参加の動機 活動内容を話した後、児童に望むことと題して、(一)テレビ視聴時間以上に読書時間を持つて頂きたい(二)基本的な生活習慣を身につけて頂きたい旨の詳細四項目を話して私の話を終った。(紙面の都合上省略)

★お二人の内容を聴きたい人は連絡下さい。

大正琴ボランティア 小野澤紀子

八年程前、一人の会員さんが大正琴を習いたい、との一言が現在のようになるとは想像もしておりませんでした。私は六十歳を過ぎてからボケ防止にと思って習い始めました。

無免許の私ですが、一拍が二拍のリズムと間違えたりしながら、現在では我が家で毎週水曜日二時～四時まで、還暦を過ぎてから始めた会員さん六人で仲良く練習をし、楽しくおしゃべりしたり、お茶飲みもしております。

会の名称は「なかよし会」とつけました。

平成十三年九月の敬老の日のお祝いに、練馬区立大泉特別養護老人ホームで六人お揃いの衣裳で演奏をして、皆さん大きな声で唄って、大変喜んで頂きました。以来、毎月一回一時間ホームで(童謡とかやさしい曲が殆どですが)弾きながら歌ったりしております。

楽しかった又来てねの言葉が嬉しく励みとなり喜んでボランティアをさせて頂いております。昨年四月二日付で感謝状も頂くことが出来ました。これも六人の皆様のご協力のおかげと深く感謝いたします。



## 「初心に返って純粋倫理学習会」

二月十六日(土) 十八時三十分より石神井区民交流センターに於いて、田形健一局長をお迎えして純粋倫理学習会第二講が開かれ、五十六名が参加した。田形局長の講義内容は「墓参の意義」について、栞十三条の敬神崇祖については、親・祖先・肉親縁者を尊ぶと言ふ事は、ほかならぬ自分自身を向上するという、明るい積極的な前向きな人生を送ることを強調され、受講者全員に感銘を与えた。

## 創生の心 明朗な心で実践しよう 合同おはよう倫理塾

二月十七日大泉会場にて、前夜に引き続き田形局長をお迎えして行った。参加者五十三名。講話内容は、これからの倫理活動のキーポイント、新世誌上に発表された(十月号～三月号)丸山理事長の新世言の内容、これからの私共の人生の生き方の要約、これからの倫理運動の道筋について話され、参加者全員に勇気を持って実践するよう激励された。



## 子育て支援セミナー

二月十九日(火) 石神井区民交流センターに高松祐子生涯局特別講師をお迎えして行われた。参加者若いパパ一人を含め若いママ三十五名、お子様二十五名、お手伝い三十五名。高松講師のお話は、シリーズ化されている「目からうろこ、子育てが変わる」意外なところがポイントです。のテーマで、子どもとは何か、幼児期・児童期・思春期の特徴、子どもの脳の発達をレジユメに沿って説明された。子どもは良い影響を与えれば良くなり、悪い影響を与えると悪くなる。ほめことばと七秒間の、ぎゅっと抱きしめが親子の信頼関係を高めとても大切であると強調された。質疑応答の時間はとても活発で黒一点のお父さんが、ぎゅっと抱きしめる実践を三人のお子様が続けてきたところ、喜んで順番を待っているようになった、と嬉しい体験を話して下さい。(新世一、二月号に掲載の紹介あり)



## 家庭倫理の会練馬区主催

### 第一回秋津書道特別講習会

二月三日(日) 午前九時二十分～午後三時迄大雪の中、東大泉区民館に於いて練馬区単独による秋津書道講習会を開催した。参加者二七名 初めに土木書道講師から、この日の課題「自分の思いを自分の字で書く」ための心構え即ち「調和体」についてお話があり、そして土木・福田・太田書道講師の席書き(模範書き)が始まり、先生方の素晴らしい筆の運びに思わず感嘆の声があちらこちらから上がりました。その後実習となり、午後からは清書をし、この日一生懸命書き上げた各自の作品について、講評をいただきました。どれもこれも心のこもった素晴らしい出来栄の作品でした。盛会裏に終りご協力ありがとうございました。【編集後記】二月二日の地球倫理フォーラム、二月の純粋倫理学習会、合同おはよう倫理塾に出席し「すべての道は倫理に通ず」という確信を持ちました。会友の皆様方の実践を待望いたします。(記、谷川昭)

